

発電機負荷試験 点検事例2

社会医療法人 将道会 総合南東北病院 様

【総合南東北病院様 概要】

仙台以南における救急指定病院として、24時間365日の医療体制のもと、院是である「すべては患者さんの為に」に沿って、救急医療の確立・高度医療の実践・高齢社会での安らぎの福祉、そして予防医学などを着実に進めており、広い地域において急性期医療を中心に地域医療を支える基幹的病院で、平成28年には地域災害拠点病院の指定を受け、地域の皆さんに信頼される最先端医療・福祉サービスを提供する総合病院です。

【負荷試験実施に至るまで】

総合南東北病院様は救急指定病院の機能を持っており、緊急処置を要する患者がいつ搬送されてくるか予測できないのに併せて、緊急を要する処置がどのタイミングで実施されるか予測がつかないため、施設の停電だけは避けなければならない施設ですが、全館停電させることなく、短時間で発電機負荷試験ができるということで負荷試験を実施されました。東日本大震災当時、発電機が大活躍した反面長時間運転しており、その後6年間出力確認をせず試運転しかしておらず、出力確認をし、停電の際きちんと電気を供給しておける状態にしておくことが重要とのお考えでもありました。

【お客様の声】

当病院の院是でもある「すべては患者さんの為に」を実行するうえで最も大切な緊急時の電源確保は最重要。病院をご利用されている患者様及びドクターをはじめ全スタッフの安全・安心を考えたとき、防災設備がきちんと作動するようにしておかなければ何の意味も無い。特に自分の力では避難することができないかたが多く利用するのが病院なので、備えはきちんとしておかなければなりません。防災設備がいつでも正常稼働できるようにしておくことこそが最も大事であり、安心・安全な環境のもと、患者様及びドクターも治療に専念できるものと捉え、それが「すべては患者さんの為に」を実行できる行動と考えております。

【まとめ】

今回ご紹介しました施設は、患者様の安全・安心をしっかりと担保し、治療に専念して頂きたいといった考えの病院でした。また、コンプライアンスもしっかり遵守されておりました。東日本大震災時の発電機のありがたさが今も鮮明に残っており、その際どれほど安心したかといった思いがあり、いつでも正常稼働できる状態にしておかなければならないので負荷点検することは当然ですという施設でした。自分以外の大切な家族をあずける施設が、利用者の安全をしっかりと考えてくれている施設を今後とも利用していきたいと思っております。

